

観て楽しい食べておいしい山菜

著者 一日一種
(イラストレーター
・漫画家)

ひと口に山菜さんさいといっても、分類群はシダ植物せいだしょくぶつや草本そうほん、木本もくほんなどさまざま。採れる時期とれるじきや環境かんげいも異なる。自分たちの地域ちよでは、いつごろ、どんな環境かんげいに生えているのか、よく観察してみよう。

フキ(ふきのとう) キク科

他の山菜より早く、早春から観られる。
半日陰はんひかげで湿度しつどが高い場所に多い。



ふきのとうは地下茎ちかけいでつながっている
ので、地上部ちやうぶで刈り取る。
(ぬかさないのがマナー)

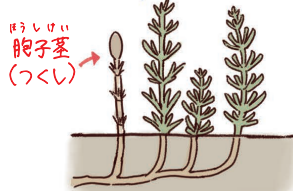


つくし トクサ科(シダ)

正式名称せいしきなまえはスギナ。河川敷かえんじきなど、
少し貧栄養ひんえいりやうの土地ちに生えやすい。



かさを開いて
胞子ほうしを飛ばす



ワラビ コボシシカマ科(シダ)

日当たりの良い土地ちや空き地あきちなど
によく生えている。



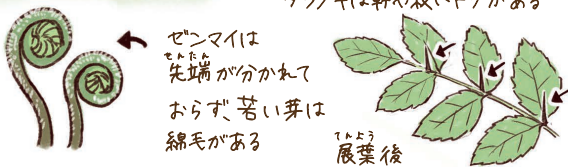
ダラノキ(ダラの芽) ウコギ科

日当たりの良い空き地あきちなどに生える
いわゆるパイオニアの木本植物もくほんしょくぶつ。

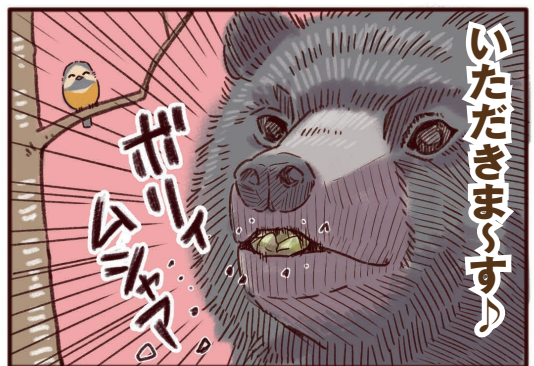


側芽そくがを全部
取ると朽たて
しまう
(残すのがマナー)

ウルシの仲間なかまに似ているが
ダラノキは幹かみや根ねにトゲがある



山菜採りをするときは土地ちの所有者しゆじゆの確認かくにん、
採り方や採り量とれりりやうに気を付けよう



ワメはふきのとうが好き